

Ⅲ1(1) 研究の概要

研修主題

学び合う子～学びの楽しさや価値に気付く・聞き合い、生かす～

令和7年度は、これまで培ってきた【主体的な学びを引き出す方策】を継続・発展しながら、【対話的な学び】の充実、さらに【自己選択のできる学び】の場を設定していくことで、個別最適な学び・協働的な学びを取り入れた授業づくりを目指して、以下のように目標を設定した。

☆相手の思いや考えを受け止めながら、聴くことができる。(75%)

☆学びと将来の関わりに気付くことができる。(90%)

☆進んで学ぶことができる。(80%)

目標を達成するための具体的な方策として、

【相手の思いや考えを受け止めながら聴く】ことへの手立て

○「対話」をする場面の意図的計画的な位置づけと工夫（対話の仕掛け）

○対話のスキルアップ

【学びと社会や将来の関わりに気付く】ことへの手立て

○付けたい力と学びの見通しを共有するキャリア年計の活用

○課題に対する考えの変容を見取る振り返り

○未来につなぐ一言

【進んで学ぶ】ことへの手立て

○必要感もてる単元計画

○既習事項を生かした解決方法や表現方法等の自己選択

これらを重点として校内研修を中心に取り組み、令和7年度2学期末の学校評価では、

★相手の思いや考えを受け止めながら、話を聴くことができている

目標 75%→50%達成

★学んだことが、これからの生活や将来に役立つと思っている。

目標 90%→88%達成

の達成状況だった。

それを踏まえ、令和8年度は、学校教育目標達成のため「自分の夢や目標に向かって努力を続け、困難なことがあっても、仲間や地域の人と関わり合いながら課題を解決していくことで、自分を少しずつ成長させていく子供」「自他の命を大切にし、仲間とともに生きる喜びを感じながら、自分らしさを発揮し、自分のよいところを輝かせていく子供」の育成を目指し、「学び合う子」「心豊かな子」「元気な子」を重点目標として取り組んでいく。校内研修では、特に「学び合う子」の

☆学びの楽しさや価値に気付く、主体的に学ぶことができる(70%)

☆相手の思いや考えを聞き、自身に生かすことができる。(60%)

の具現を目指して取り組んでいきたい。そこで、研修主題を「学び合う子～学びの楽しさや価値に気付く・聞き合い、生かす～」として、研究構想図に示す手立てを中心に研修を進めていく。

また、教師自らも主体的に校内研修へ取り組んでいく手立てとして、児童の実態を把握し、教師一人一人の目標設定と自己省察を行う。主に授業研究の実践や事後研修で学んだことを自己省察することで、よりよい授業作りや学校教育目標具現へと結び付けていきたい。

Ⅲ 1 (2) 研究構想図

